

4A基礎講座 (全95回)

論文解法パターン講義 (全64回)

◎憲法	6回	◎商法	10回	◎行政法	6回
◎民法	16回	◎民事訴訟法	7回		
◎刑法	12回	◎刑事訴訟法	7回		

出題の可能性がある全パターンの論文式問題を、たった1つの方法論「4A」により考えながら解くことで網羅しつつ、知識の使い方を体得する講義です。講義1回当たり、平均4問くらいの本試験過去問を解きます。

予習としては、少なくとも最初のうちは、次回の講義で扱う問題の問題文と、その問題で使う重要条文を読んでくれるだけで充分です。むしろ、講義で体験した解答過程を、問題文と条文だけから自力で再現できるよう、復習に力を入れてください。

知識集中完成講義 (全31回)

◎憲法	3回	◎商法	5回	◎行政法	3回
◎民法	8回	◎民事訴訟法	3回		
◎刑法	6回	◎刑事訴訟法	3回		

本試験の徹底的な分析により厳選した、**合格のために必要充分かつ即戦力で使える知識を、論文式はもちろん短答式試験対策にもなるよう、短時間で集中的に、条文単位のテキストで網羅的にInput**していきます。各科目ごとに、論文解法パターン講義→知識集中完成講義の順で受講すれば、論文式問題を解くための知識の使い方を念頭に置き、目的意識を持って効果的に知識をInputすることができます。

法律基本科目答練 (全47回)

基礎答練 (全37回)

◎憲法	5回	◎商法	5回	◎行政法	3回
◎民法	9回	◎民事訴訟法	4回		
◎刑法	7回	◎刑事訴訟法	4回		

応用答練 (全10回)

◎公法系	3回	◎民事系	4回	◎刑事系	3回
------	----	------	----	------	----

4A基礎講座で、本試験問題の解答過程を自力で再現できるようになり、本試験合格に必要な十分な知識を網羅したとしても、**初めて見る論文式問題について、制限時間内に、実際に答案を書くところまで実践できるのか、**

試す必要があります。

その直後、4Aを使ってどのように論文式問題を読み、解き、答案を書くべきだったのかを中村講師が解説する講義を受け、**4Aを使いこなせたかチェック**してください。

その上で、丁寧な採点・答案添削を受けることで、**採点者の着眼点(絶対的な合格ライン)と今後の勉強の方向性**が分かります。しかし、試験における真の“敵”は、採点者ではなく他の受験生ですから、他の受講生が実際に書いた答案や、中村講師による講評(配点項目ごとの受講生全体の出来から算出した相対的な合格ライン、受講生に多かったミスの傾向と対策等の紙上講義)も読んでいただくことで、**相対的な合格ラインを見極める力**も鍛えます。